

# いづら議会だより

2022年11月1日発行 第74号



## トピックス

- ・ 9月定例会 ..... P 2  
令和3年度決算の認定など
- ・ 一般質問 ..... P 10  
11名が質問
- ・ 特集 ..... P 22  
いざという時の家庭の備えは？  
～非常食の備蓄について考える～

## 逢東盆踊り活動再会

逢東盆踊りは平成30年に鳥取県無形民俗文化財に指定されました。コロナ感染が拡大し休止していましたが、保存会による練習を再開しました。



# 9月 定例会

令和  
3年度

# 一般会計決算 補正予算12議案、

9月定例会は9月8日～26日（19日間）開催。予算・決算審査特別委員会を開催し、令和3年度一般会計など決算を14日～16日（3日間）審査しました。その結果、令和3年度決算19議案を認定。また、補正予算12議案、条例・その他議案、合計41議案を原案どおり可決（認定・同意）しました。

## 令和3年度に行われた主な事業

	(千円)
●槻下団地（1区画）きらりタウン（3区画）定期借地権設定事業費（町が分譲地を購入し、その土地を51年間定住希望者に貸付）	23,684-
●東伯総合公園リニューアルのためのPFIアドバイザー業務委託料	14,480-
●公債費繰上償還	109,676-
●家庭用発電設備等設置補助（太陽光発電3件、薪ストーブ2件）	588-
●定住奨励金 8件	3,900-
●空き家活用等補助金 9件	2,397-
●地域交通対策（町営バス・空白地域タクシー委託等）	103,044-
●プレミアム付き『地元商店応援券』発行事業 20,735冊	43,517-
●琴浦町持続化給付金（第3弾）事業 182件	41,050-
●奨学金返済支援 4人	176-
●物産館ことうらリニューアル改修工事等	225,764-
●スマート農業推進事業（環境モニタリング装置設置など）	12,116-
●農林関係災害復旧事業	198,558-
●新型コロナウイルスワクチン接種	116,287-
●新生児支援交付金 106人	10,600-
●住宅の修繕・改修助成事業 170件	9,921-
●除雪ロータリー購入 1台	30,228-
●空家除却費用補助金 8件	4,041-
●進学支援（進学奨励金・通学費補助） 高校生91人など	10,734-
●ICT教育推進事業（タブレット購入など）	47,027-



新たに配置された除雪ロータリー

# 119億円を認定 条例改正1議案を可決

## 令和4年度一般会計補正予算（第3号）

### 可決された主な補正予算

(千円)

●公債費繰上償還	132,204-
●きらりタウン定期借地権用地の取得 5件	17,875-
●赤碓駅舎活用ワークショップ費用	44-
●プレミアム付き『地元商店応援券』再発行（抽選にもれた方対象、940冊）	2,280-
●オミクロン株対応コロナワクチン接種 （対象：1・2回終了している13,500人。10月～3月）	52,058-

## 議員提出議案第9号

シルバー人材センターに対するインボイス制度の適用除外を求める意見書の提出について（令和5年10月開始予定のインボイス制度において、シルバー人材センターを適用除外とする意見書を提出することについて）

**賛成**

【井木 裕 議員】

シルバー人材センターの負担金がかかなり増えるという話なので負担を軽減するため賛成

**反対**

【押本昌幸 議員】

シルバー人材センターのみの除外を求めるのではなく、この非常に不合理なインボイス制度そのものの廃止を求める意見書を出すべきだという立場から反対

賛成

13

反対

2

## 議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果	議員名																	
		賛成	反対	金光 敦	小椋 憲浩	谷田 順子	田中 肇	川本 善孝	山本 秀正	押本 昌幸	澤田 豊秋	桑本 賢治	川本 正一郎	小椋 正和	手嶋 正巳	前田 智章	桑本 始	井木 裕	大平 高志
4年陳情第7号 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	0	15	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議
4年陳情第8号 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	不採択	0	15	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議
議員提出議案第9号 シルバー人材センターに対するインボイス制度の適用除外を求める意見書の提出について	可決	13	2	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議

その他の議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となった。

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥

## 同意された人事

- ☆教育委員会教育長 田中 清治 (たなか きよはる) さん  
任期：令和4年10月27日～令和7年10月26日
- ☆教育委員会委員 森田 澄恵 (もりた すみえ) さん  
任期：令和4年10月27日～令和8年10月26日
- ☆八橋財産区管理委員 松本 淳 (まつもと じゅん) さん  
任期：令和4年9月26日～令和5年6月29日

## 琴浦町議会改革推進特別委員会を設置

委員長 山本 秀正 議員

副委員長 押本 昌幸 議員

設置目的 さらに開かれた議会を目指し、下記に取り組む。  
議員定数の見直し、DX※の推進、改革にともなう会議規則など関係例規の整備等

※デジタル技術を活用して行政サービスや仕組みを変革すること

## 請願・陳情

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見	本会議の採決結果
4年 請願 第2号	会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める請願	自治労鳥取県本部執行委員長 山口一樹 琴浦町職員労働組合執行委員長 難波浩幸	1. 短時間会計任用職員にも勤勉手当を支給できるようにすること。 など3点	総務産業	採択	採択
4年 陳情 第7号	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 漆山ひとみ (山形県鶴岡市)	1. 辺野古新基地建設を断念すること 2. 普天間基地は「本土」に引き取り、日本全体で問題解決すること、など3点	総務産業	不採択	不採択
4年 陳情 第8号	中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情	井田敏美 (兵庫県伊丹市)	中国共産党による臓器収奪を非難し、法輪功に対する迫害に代表される種々の人権侵害の即時停止を求める。	総務産業	不採択	不採択



# 委員会の報告



## 予算・決算審査特別委員会

委員長 押本 昌幸

令和3年度一般会計歳入歳出決算をはじめとする計19議案の付託を受け、9月14・15・16日の3日間、町提出の「成果説明書」に基づき関係各課からの聞き取りを行い、審議した。以下、その内容を抄録する。

### 《質疑応答》

#### 第1日目

##### 【総務課】

- Q 職員の時間外労働時間は？  
A 週45時間以内が目安。
- Q 職員の不調による休暇取得の状況は？  
A 令和3年度は、17名が病気休暇取得者。
- Q 課題として、時間外労働時間が多いとあるが？  
A コロナ禍によるワクチン接種、自然災害対策等で職員に負担がかかっている。
- Q 売却収入とあるが、これは何？  
A 土地の「赤線・青線」用途廃止に伴うもの。
- Q 今度の浦安地区公民館では和室がなくなるが？  
A 公民館等との話し合いで、畳よりフローリングの方がよいと。また避難時も床にベタではなく、マットを敷くよう準備している。
- Q コロナ対策費の全貌明細がわかる資料が必要。  
A 臨時交付金の総額は2億円余、32事業。詳細は別途準備する。
- Q 交通安全指導員の成り手不足は？  
A 定員に10名不足。声掛けはしている。
- Q DX等デジタル化が進む中、一般財源に頼っているが交付税措置などの補助は？  
A 国は交付税措置をするとは言っているが、悩ましいところ。
- Q きらりタウン等分譲地の状況は？  
A 定期借地権等で対応しているが、まだ21区画残っている。
- Q 選挙運動は一部公費負担となったが？  
A 町長、町議選とも全員利用している。
- Q 防災士、消防団員の現状は？  
A 防災士は70人、消防団員は定数170人に対し149人。

##### 【出納室】

- Q 税金など収納にかかる町の経費は？  
A 金融機関は1件あたり税込11円。コンビニ等は66円。

##### 【町民生活課】

- Q マイナンバーカードの普及と費用対効果は？  
A 国を挙げてやっているところで、まだ費用対効果までは把握していない。

##### 【すこやか健康課】

- Q コロナワクチン接種の支援金は？  
A 一律に介護施設には10万円、病院には20万円。

- Q 国保会計の一般会計からの繰り入れは行わないよう国や県の指導があるか？  
A 繰り入れには慎重に臨んでいる。

- Q ふるさと未来基金（ふるさと納税）の用途は？  
A 寄付の指定のあるものを優先的に使う。

- Q コロナワクチンの分配が医療機関によりまちまちでは？  
A 各機関の処理力、診療体制の判断による。

- Q コンディショニングコーディネーターの報酬が当初予算と差があるが？  
A オリンピックの帯同などで、実働時間が減ったため。

##### 【福祉あんしん課】

- Q ひきもこもり対策の現状は？  
A まず民生委員と共に集落に出かけ調査。集落単位で60%終え、34人を把握。

##### 【子育て応援課】

- Q 全こども園で取り組んだICT化の成果は？  
A 職員の業務改善に有効であった。保護者にも



# 委員会

コミュニケーションが取れるなど概ね好評。  
また、緊急時には従来の手法も講じている。

**Q** 大手乳業メーカーが値上げを発表した影響は？

**A** 今後注視していく。

## 【税務課】

**Q** 差し押さえが51件あるが、年金振込日や児童手当支給日に差し押さえしていないか？

**A** 広域連合と町の分とがあるので調査する。

**Q** 補助金等で取得した償却資産の把握は？

**A** 申告制だが、税務署等も調査する。

## 【その他】

**Q** 「不用額」の考え方を聞きたい。

**A** 期末に、消耗品を購入したりするようなことはしないで、残るものは残すという考え。

**Q** 「財政調整基金」の考え方は？

**A** 基金残高12億円を目標としている。これは「標準財政規模」の約2割に相当する。

## 第2日目

### 【農林水産課】

**Q** ワイナリーの進捗は？

**A** ブドウの植栽が700aに対して459aである。

**Q** 水辺公園管理の一部が随意契約で個人口座に振り込まれているのでは？

**A** 役場としては団体に振り込んでいるつもりだが、団体の都合で個人名義の口座になっていると。いま調査中である。

**Q** 「農業経営収入保険」の加入者123人は少ないのでは？

**A** 初年度69人からスタートしての数字で少しづつは増えている。戸数での%は出していない。

**Q** 町助成による農業機械、ハウス等の償却資産の把握は？ 税務課との連携は？

**A** 特に農林水産課からは情報提供はしていない。

**Q** 「森林環境譲与税」だが、基金繰り入ればかりではないか？

**A** 今後、町が森林の所有者から山の管理を任せ

れる場合に、その資金として積み立てておく必要がある。

**Q** ふれあい交流会館の維持管理はどうか？

**A** 定期的に確認する。

**Q** 多面的機能支払交付金事業、中山間地域等の直接支払事業、全町に組織化されているが、交流は？

**A** 活動組織での交流が望ましいが、出来ていない。チラシ等での情報交換をしている。

**Q** ダム周辺の除草作業が十分でないが？

**A** 土地改良区連合に依頼しているので確認する。

## 【建設住宅課】

**Q** 除雪の仕方にムラがある。

**A** 山間部と市街地との違いもある。業者に要望する。

**Q** 老朽化した公共施設のブロック塀の対応は？

**A** 危険性は承知しているが、内部で検討中である。

**Q** 令和3年7月豪雨災害浸水地域のその後は？

**A** 公文地区と桜ヶ丘地区。対策は上がってきているので委員会で報告。

**Q** 住宅使用料の滞納は？

**A** 徴収に関し、職員の体制が整ったので取り組む。

## 【教育総務課】

**Q** 高校生の通学費助成は？

**A** 県の補助事業で、定期券等の7,000円を超える部分の助成で、81件ある。

**Q** 給食の地産地消率は？

**A** 前年度より7%アップしたのは重量比。44品目になる。

**Q** 学校トイレの洋式化は？

**A** 承知しているが、まずは整備の済んだ普通教室以外のエアコンの整備に集中している。

**Q** 学校給食費の無償化が話題だが、琴浦町は？

**A** 現状1食あたり11円の補助をしている。無償化は理解する。国自体でやってほしい。町は就学援助で対応、全校生徒の12%が対象。

# の 報 告



**Q** ICTの推進で教職員に負担がありはしないか？

**A** ICT支援員を配置している。また採点等でAIソフトの使用もある。

## 【社会教育課】

**Q** 文化財管理ということで、農林水産課のほかにも同じ事業者が芝管理を受託している。それらの報告がその事業者の決算書へ記載がないという一般質問があった。どういうことか？

**A** 業務内容はしっかり履行されているが、住民に周知されていないということで団体に指導助言しているところ。

## 【人権・同和教育課】

**Q** 人権課題の解決に向け、職員の対応が適切であったか？

**A** そのように理解している。

## 【企画政策課】

**Q** 食の魅力ということで、レシピがつくられ、冊子にもなっているが、町内の店で予約がないと食べられないが。

**A** 時期により食材の確保の問題があるのでできれば予約をしてほしい。

**Q** 地域おこし協力隊員が動画を作成しているが、その反響は？

**A** メーリングリスト等で紹介、反響もある。

**Q** 企画政策課では大変多くの事業を展開しているが、職員数は？

**A** 昨年度は10人体制だったが異動等があって今は8人。それに地域おこし協力隊員2人、集落支援員3人、移住定住アドバイザー1人。

## 【上下水道課】

**Q** 赤碓金屋と竹内の配水池を統合して上中村にも給水していくとあるが。

**A** 町水道の運営上、施設が多いと維持管理費がかかる。また耐用

年数もある。

**Q** 上水道の老朽管はどうなっている？

**A** 漏水検査は、夏場の深夜に職員が歩いて行っている。

## 【商工観光課】

**Q** 大手出版社の雑誌に記載されて反響は？

**A** 雑誌に載ることで、ふるさと納税に結び付いた。また、その雑誌に載ったことで他の雑誌にもとりあげられるということもあった。

**Q** サウナの実績はどうか？

**A** 県内外の利用者数で言うと42%が県内、58%が県外という実績。

**Q** 地元商店応援券を発行した成果は？

**A** 幅広い多様な業種に使われた。

**Q** キャンプ場の使用は伸びているが、食材等の地元製品の消費は？

**A** 資料がないので、別途調査する。

**Q** 船上山のトイレ1か所閉鎖されているが。

**A** 「滝下トイレ」のこと。水源の問題があって、根本的な解決策があれば検討したい。

## 第3日目

付託された19議案すべて全会一致で認定、可決。調査中である「農林水産課」および「社会教育課」の芝管理の委託先については、議長を通じ執行部に調査結果を求めることとした。閉会。



斎尾廃寺跡



# 委員会

## 教育民生常任委員会

委員長 澤田 豊秋

9月20日に委員会を開催し、はじめに、まちづくりビジョン、過疎地域持続的発展計画について意見を求め、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。

### 《質疑応答》

#### まちづくりビジョンについて

- Q** デジタル関係のことが記載されていなかったようだが、今後のDXの推進は？
- A** 政策6(6)「町民の声が届きともに創る未来のまちづくり」の部分で、後半にDXは目的ではなく手段として追加した。
- Q** DXは行政全般に影響し行政組織の根幹に関わる部分だと理解しているが。
- A** DXは行政全般に関わってくることだと理解している。
- Q** 安全安心な暮らしを守る持続可能なまちづくりで、避難所の施設の統廃合がある。浦安地区公民館は避難所になるか。
- A** 現在の公民館は、耐震性がないということで外している。福祉センターに移れば、一時的な避難も考えているが、基本的にはボランティアセンターの役割がある。

#### 各課からの報告事項について

- Q** 教育委員会事務局でクラスターが発生したが、発生しやすい構造上の問題があるのではないのか。換気をする等改善すべきではないか。
- A** 2か所窓があり、指導を受けサーキュレーターを3台導入し、扇風機と共に常に空気が流れるよう配慮している。
- Q** PFIのワークショップの案内が、体育関係者だけではなかったか。PFIは体育施設オンリーじゃないという大前提があるのではないか。
- A** PFIの目的自体がスポーツ関係者だけが集う施設ではなく、皆さんが利用できることを原則としている。
- Q** 斎尾廃寺の芝の管理で現在までの調査は？ 代表者等関係者に聞かれたのか。
- A** 関係者の聞き取りを含めて確認。通帳は個人名義の口座に振り込んでいるが、芝管理専用の通帳と確認。作業日報についても確認。今後地元の団体が受けている事業であるということで対応を指示した。
- Q** 町内で人権問題に関わる案件が出てきたとき、どういう情報が入ってきたときに差別対応マニュアルを適用するのか。
- A** マニュアルはあくまでマニュアルであり、両者の話を聞くなど調査し、教育委員会の中で協議を行ってから対応している。
- Q** 新しい人権条例ができたにもかかわらず、差別対応マニュアルは古い条例に基づくもので改訂されていない。17項目に基づいて徹底して欲しい。
- A** 実施計画に基づいて、マニュアル等も改正したい。
- Q** マイナンバーカード、町民全員が20,000ポイントもらえればすごい購買力になる。なぜ広まらないのか。
- A** 経済効果は大きいですが、ポイントが使えるところは町内3か所。
- Q** 軟質プラスチックを回収した後、固形燃料として再生されるということだが、全てか。
- A** 回収後おおむね固形燃料として再生される。
- Q** 「そろいそろい手帳」と1市4町が出された「私の未来ノート」は、今後どう活用されるのか。
- A** 「私の未来ノート」のコンパクト版が町の「そろいそろい手帳」。個人で使い分けていただければと思っている。





## 総務産業常任委員会

委員長 川本 正一郎

9月20日に委員会を開催し、今年度導入したドローンの実演飛行の視察と説明を受けた。委員会審議では、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。また、付託された請願・陳情3件について審査し採択1件と不採択2件を全会一致で審査を終えた。

### 《質疑応答》

- Q** 教育委員会事務局の新型コロナウイルス感染のクラスター発生の対応は。
- A** 8月29日から30日にかけて職員12名の陽性が判明してクラスター認定された。9月2日に県専門家チームの立ち入り調査と指導を受け、管理職会等で感染防止対策の徹底を再度職員に周知した。
- Q** 町職員の定年延長は来年度から実施するのか。
- A** 令和5年度から制度が始まる。町職員では、今後3年は定年退職がないので早くても4年後からの適用となる。
- Q** 会計年度任用職員の制度改定について、今後は前向きに改善してほしい。
- A** 10月に改定方針の整理、12月に関係条例の作成を予定、改定にあたり中部地区の人事担当者が連携して協議している。
- Q** 農業用肥料・飼料などの高騰対策について今後の予定は。
- A** JAから県と同額の支援をしてほしいと要望がきている。必要予算を試算して財源や支払い時期なども協議が必要なので今後の検討となる。
- Q** 公文地区の浸水被害防止対策について、現地で関係者に説明しているか。
- A** 地元区長、水田の関係者の方と現地確認している。令和6年度から用地補償と工事着手を考えている。
- Q** 桜ヶ丘地区の浸水被害対策と防災浸水被害防止対策について住民の方に説明をしているか。
- A** 地元区長には説明をして、用地買収や工事費用と工事時期などを総合的に検討して決定した。令和5年度以降に用地補償と工事着手を考えている。
- Q** 公共交通は限られた地区だけでなく町内全体を検討すべきでは。
- A** 令和7年度に向けた交通再編については、来年度から乗り合い交通の実証実験を計画している。今後も引き続き検討していく。
- Q** 一向平キャンプ場に、飲料水タンクを増設したのはなぜか。
- A** キャンプ場の利用者が増えた事とサウナの利用により水が不足したため、昨年度タンクを増設して現在は良好な状況。



ドローン実演



ここが聞きたい

# 一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

質問議員	質問事項	掲載ページ
通告1番 小椋 憲浩	1. 防災対策について 2. 交通安全対策（交通安全旗）について	11
通告2番 澤田 豊秋	1. 会計年度任用職員制度の見直しについて 2. 農業用水の確保、減災に向けた管理体制の整備充実について	12
通告3番 田中 肇	1. 歯周疾患検診について 2. 東伯総合公園のサッカー場整備とPFIについて 3. 公共施設における芝の管理について	13
通告4番 川本 善孝	1. 円安等による物価高騰の影響とその見通し及び町民生活を守る町の施策について 2. 安倍元首相の「国葬」に際しての対応について	14
通告5番 山本 秀正	1. 交通弱者対策について 2. 野良猫対策について	15
通告6番 手嶋 正巳	1. 閉館のカウベルホールについて 2. 廃校になっている古布庄小学校の有効活用について	16
通告7番 金光 敦	1. 部活動の段階的な地域移行について	17
通告8番 押本 昌幸	1. 町施策全般について 2. 「町公共施設等総合管理計画」について ～「まなびタウンとうはく」を例に～	18
通告9番 川本正一郎	1. 農林水産業の振興策について	19
通告10番 小椋 正和	1. 観光名所再構築について 2. 町道等の障害樹木の除去について 3. <a href="#">小・中学校の諸課題への対策について</a>	20
通告11番 桑本 始	1. 農業基本構想（2040年）の策定と半農半X（就農・移住定住）について 2. コロナ禍、心のケア拠点「まちなか保健室」の設置について 「脱・縦割り」総合相談窓口（断らない相談窓口）	21

※[青字](#)は、本紙では省略。



一般質問通告書



- ①防災対策について
- ②交通安全対策について  
交通安全「旗」について



- ①4つの柱を基本に取り組んでいる
- ②各団体が交通安全に取り組まれ成果が出ている  
交通安全旗については今後も呼びかけていく

福本町長



小椋 憲浩 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 19回 22分 + 31分 ) 53分

## 問 防災対策について

- ①琴浦町の防災対策は、あらゆる角度で検証され設備と体制が整えられているが、今一度防災について福本町長の考え方と決意を伺う。
- ②ハザードマップ及び防災倉庫の内容や設置位置の点検及び更新計画など今後の防災意識の高揚について福本町長の考え方を伺う。
  - 以西・古布庄地域の避難所の充実と防災倉庫の設置は？
  - 避難所の停電対策としてソーラーパネルや蓄電池など設備の充実は？
  - 自主防災組織の育成活動状況は？
  - 避難訓練の実施状況は？
  - 危機管理体制と意識は？
  - 自助・共助そして近助が大切では？
  - 災害対策に「空振り」と表現される事がある。空振りではなく「素振り」と捉えて、何回も素振りを繰り返す事で大事な時に大きな成果を得るのでは？

## 答 4本の柱を基本に取り組んでいる

福本町長

- ①本町の防災体制は主に4つの柱を基本に取り組んでいる。
  - ア. 被害を最小限にするため減災の考え方に基づく災害対策
  - イ. 町民及び町や県と防災関係機関との相互の連携
  - ウ. 自助、共助の取り組みを推進
  - エ. 災害に強いまちづくり

- ②ハザードマップ（琴浦町では防災マップ）ホームページで新しい変更点は随時更新しているが、紙ベースの更新は時期を考えながら進める。
  - 避難所の充実や防災倉庫の設置は今後検討していく。
  - 避難訓練を行い課題も出てきた。
  - 危機管理体制も含め、防災士等の養成など自主防災組織の充実を図っているところ。

## 問 交通安全運動対策について 「交通安全旗」について

- ①一般的な「旗」についての認識を伺う。
- ②交通安全旗の取り組みの歴史と今後の交通安全旗についての考え方を伺う。
  - 褒めていただいている自治会もあるが他は？
  - 昨今の住宅事情で掲揚を見なくなったが？
  - 運動とは目的を達成するために行動を起こす意味で、町長はその「旗振り役」では？

## 答 交通安全の取り組み成果は出ている

福本町長

- ①旗の機能は様々で、目的を持って目印や象徴として掲示されるもので、目に見える啓発の在り方は一番有効な手段として認識している。
- ②この安全旗は琴浦大山警察署特有のもので有効性は高く、長く継続して掲揚して頂き感謝している。今後も交通安全意識高揚の部分で呼びかけを続ける。



澤田 豊秋 議員

問

- ①会計年度任用職員制度の見直し
- ②農業用水の確保と減災に向けた管理体制の整備充実

答

- ①検討したい。  
体制、処遇等検討し、改善していきたい。 福本町長  
田中教育長
- ②組織間の調整等研修を通して行う。 福本町長

質疑応答時間 ( 11回 30分 + 24分 ) 54分  
 (質問) (答弁) (トータル)

問 会計年度任用職員制度の見直し

- ①制度の趣旨等を踏まえ今後どのように取り組むか。
- ②適切な勤務時間の設定になっているのか。
- ③各地区公民館を地域のまちづくりセンター化に向けて進めているが、公民館長等の任期も含めてどのような体制を考えているか。
- ④同一労働同一賃金と言いながら、正規・非正規公務員の格差解消にはなっていない。早期に格差是正を図るべきではないか。
- ⑤ゆりかごから墓場まで安心して暮らせるまちづくりに関わる一端を担っている、こうした職員をどのように考えているか。

答 検討したい

福本町長

- ①3年経過して次の段階に入るが、号給のリセットは行わない。
- ②パートタイム、フルタイムそれぞれ適切な勤務時間を設定している。
- ③公民館長職は大変重要な役割を担う職であり、給与面等あり方を検討したい。
- ④正規職員の指示とか判断に基づいて正規職員と連携している。基礎的な定型的な業務を基本としたものを行っており、業務内容に準じた給付水準となっている。
- ⑤行政全般として住民の福祉の増進を図る目的で町が行う施策の実施を行う大切な役割を持つと考えている。

答 体制、処遇等検討し、改善していきたい

田中教育長

- ③令和7年末にはまちづくりセンター化に向けて全公民館を考えており、それまでに体制、処遇等について検討し、改善していきたい。

問 農業用水の確保と減災に向けた管理体制の整備充実

- ①各井手の起点から終点までの距離、代表者、樋門の数等の実態、また、農業用水の確保、減災のための樋門等の管理体制はどうなっているのか。
- ②農業用水の確保並びに洪水のリスクを低減するために、一部の地域で「田んぼダム」の取り組みが行われている。このことをどのように捉え、今後どのように取り組まれるのか。
- ③多面的機能、中山間地域等直接支払制度と、それ以外の地域の連携が重要である。その現状と、今後どのように取り組まれるのか。

答 組織間の調整等研修を通して行う

福本町長

- ①井手の名称、所在地は把握しているが、代表者が抱える情報、細かい樋門の数等詳細の把握は難しいが、耕作者間で調整、樋門等の管理体制は、町と管理者で連携している。
- ②田んぼダムは、防災・減災の取り組みであると思っているが、現実問題この田んぼダム自体もまだまだ課題があると思っている。
- ③中山間の地域、多面的な機能、それらの話し合いの場を設けていないので、組織の話し合い、組織間の調整等研修を通して行いたい。

問

- ①歯周病検診について
- ②東伯総合公園サッカー場整備とPFIについて
- ③公共施設の芝の管理について

答

- ①対象年齢を繰り下げる すこやか健康課長
- ②町民の声を町は聞いていなかった 福本町長
- ③白鳳の郷活性化協議会を調査したい 福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 16回 30分 + 37分 ) 67分



田中 肇 議員

## 歯周病検診について

### 問 歯周病検診の効果について

歯周病と健康は密接に関係しているが、本町の歯周病疾患検診（歯科検診）の効果を伺う。

### 答 健康増進と医療費の削減 福本町長

早期発見、早期治療が健康増進につながり、ひいては医療費の削減にもつながります。

### 問 対象年齢を20歳代まで繰り下げないか

20歳代で既に歯肉炎の炎症所見が多く、検診の対象年齢を20歳代まで繰り下げないか。

### 答 来年度に向けて検討する すこやか健康課長

20歳代について、来年度に向けて検討したいと思っています。

## 東伯総合公園サッカー場整備とPFIについて

### 問 住民や利用者の要望や意見の把握と反映は

前町政では、議会請願や住民の署名要望が汲み取られなかった。

現在、住民や利用者の要望や意見はどのような形で把握し、反映されるのか。

### 答 町民の声を町は聞いていなかった 福本町長

町民、例えばスポーツ協会、スポーツ少年団とか実際に総合公園やスポーツに関わっている人の声というものを町は聞いていなかったの、利用者の実態を把握し、要求水準書の参考にさせていただきたいと思っています。

### 問 経費の削減効果は年間200万円程度

PFIによる経費の削減効果が5,000万円（11年間）というの、はおかしいと思う。

町は既にPFI導入調査事業等に2,800万円使っており、削減額5,000万円から、この経費を差し引くべきで、2,200万円となる。

これは年間200万円くらいで、「会計年度任用職員さん1名分」の費用の削減効果しかないが。

### 答 かなりの時間とお金をかけているのは事実 福本町長

PFIの準備までにかなりの時間とお金をかけているのは事実。それが上手くいくか、いかないか可能性を試算しているので、まだ分からない。

本当に利用する人がどうなのか、それが一番の基本だと思っています。

## 公共施設の芝の管理について

### 問 白鳳の郷活性化協議会への300万円弱の支払いについて

町は水辺公園、斎尾廃寺跡、大高野遺跡の管理を「白鳳の郷活性化協議会」に委託し、300万円弱の支払いをしているが、協議会「総会資料」の収支決算書及び事業活動に記載がない。

協議会はすごく活動されていて、地域で頑張っておられる。

ところが、総会資料に事業実績も歳入もない、逆に「会員さん」にとって何だってという事になると思わないか。

### 答 白鳳の郷活性化協議会を調査したい 福本町長

町としては振り込んでいるという事ですので、詳細は言えないが、調査したいと思います。



川本 善孝 議員



- ①円安等による物価高騰の影響、その見通し、町民生活を守る施策は
- ②安倍元首相の「国葬」への対応は



- ①国は当面住民税非課税世帯への対応。国・県の動向を注視していきたい。
- ②対応することも強要することも考えていない。  
福本町長・田中教育長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 7回 22分 + 28分 ) 50分

## 物価高騰から町民生活を守る施策について

### 問 水道料金を減免する自治体が増えているが

宇都宮市、枚方市、瀬戸市、茨城県東海村・境町、県内では南部町・伯耆町など。

### 答 不可能ではないかと思う

長尾上下水道課長

伯耆町の例でいくと、琴浦町で換算すると減免額は約2,839万円、南部町の例だと約4,260万円となる。管路経年率（耐用年数40年超）70.03%、現在検討している専用水道の編入などを考えると不可能ではないかと思う。

### 問 学校給食の無償化を実施する自治体も増えているが

青森市、群馬県では14/35自治体、県内でも5/19自治体。明石市・高槻市のように中学校から実施する方法もある。伯耆町のように1食10円から始めて現在200円補助などだんだん増やしていく方法もある。さらに、県町村会で一緒になって県補助1/2を求めていく方法もある。

### 答 国全体で取り組んでほしい。町でも陳情等強く言っていきたい 福本町長

欧米では8割方が無償。国が全部みるというのが望ましい姿ではないか。町など財政の厳しいところがそうやって本当に町民の生活のために腹をくくるのは（無償化に約8,000万円必要）苦しい。

### 答 困った人に対してはきちんとした補助をしていく、そういう政策を押し進めるべきだ 田中教育長

生活に困っている人については、もうすでに今している（生活保護世帯・準要保護世帯は無償）。これを全部一律に無償化することは、町の財政がそれだけ苦しくなる。苦しくなると今まであったサービスが提供できなくなる。

### 問 「国葬」への対応は

### 答 国・県から通知は来ていないし、仮に来ても対応は考えていない

福本町長  
田中教育長



学校給食



惑星コトウラ給食

問

- ①現在取り組まれている共助交通について、課題或いは問題点等がありはしないか
- ②本町において野良猫対策についての取り組みはどうか

答

- ①有償運送による共助交通の課題は利用者が少ないこと赤字運行等があり地域づくりとあわせた持続可能な体制づくりが必要
- ②地域猫活動モデル事業補助金などの交付を行い不妊・去勢手術を施し繁殖の抑制を図っている 福本町長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 26回 26分 + 36分 ) 62分



山本 秀正 議員

### 交通弱者対策について

問

地域内での助け合いによる移動支援として本町の共助交通の状況についてお伺いします。

答

**共助交通は、有償運送の実証実験などを行っている** 福本町長

共助交通であります。有償の運送が1地区で安田地区です。ボランティアによる運送が2地区、徳万と岩本です。それから、令和3年は古布庄地区、令和4年が以西地区に有償運送の実証実験を行っています。

問

現在取り組まれている共助交通について、課題或いは問題点等がありはしないかお伺いします。

答

**地域づくりとあわせた持続可能な体制づくりが必要** 福本町長

有償運送による共助交通の課題は、まず、利用者が少ないということ、それから赤字運行になるという点であります。地域づくりとあわせた、もう少し持続可能な体制づくりが必要であると思っています。

問

今後ますます高齢者等の交通弱者は増えていきます。町としても交通弱者対策として、共助交通の拡充など更なる交通手段確保が必要であるとおもわれますが、施策的にどのようなお考えかお伺いします。

答

**実証実験などを実施し、持続可能な交通の実現をめざす** 福本町長

今後の交通施策については、特に学生とか高齢者等の移動手段、これをどう確保するか、それからタ

クシー事業の継続など、令和7年度の交通再編に向けて実証実験などを行い、持続可能な交通の実現を目指していきたいと思っています。

### 野良猫対策について

問

本町において野良猫による苦情・トラブル等の報告・相談の状況についてお伺いします。

答

**年間を通して、保護や苦情に関する問い合わせをいただいている** 福本町長

令和2年度は60件、令和3年度が31件、令和4年度は8月末現在で12件の相談がありました。年間を通して保護や苦情に関する問合せがあります。

問

本町において野良猫対策について取り組みをお伺いします。

答

**補助金の交付を行い不妊・去勢手術を施し繁殖の抑制を図っている** 福本町長

野良猫対策については、いわゆる飼い主のいない猫対策の補助金、それから地域猫活動モデル事業補助金、これらを交付して不妊・去勢手術を施し、繁殖の抑制を図っています。



飼い主のいない猫



手嶋 正巳 議員



- ①閉館のカウベルホール  
地元の業者で再見積りしては  
別の場所に町民ホールを建設しては
- ②廃校になっている古布庄小学校の有効活用は



- ①町内事業者での再見積りは考えていない  
現時点で新規のホール建設の計画はない
- ②民間提案を募集し、提案内容を審査し活用を検討 福本町長  
民俗文化財の保管施設として使用  
活用が見込まれれば移転を検討 田中教育長

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 15回 18分 + 21分 ) 39分

### 閉館のカウベルホールこのままでいいか

**問** 前町長からエアコン、天井の修理の見積りが約8億かかると聞いている。町民の方から本当に8億かかるのか疑問の声を聞いている。地元の業者で再見積りの計画はないか。

**答** 平成28年に経営コンサルタントに依頼した。町内企業には一級建築士と建設整備士、両方備えた企業がないので行えない。 **山田総務課長**

**問** JAとのかかわりは。

**答** カウベルホール本体は町の施設。営農センターとは切り離れた運営、下水も切り離している。 **福本町長**

**問** カウベルホールを利用したいという団体が多数あると聞いているが、貸し出しは出来ないか。

**答** 利用させて欲しいという声は聞いているが、利用規定を廃止しているので、貸し出すことは出来ない。 **福本町長**

**問** スタインウェイピアノを「倉吉未来中心」に寄付という話があったが。

**答** 鳥取県文化振興財団と受入について協議している。 **宮本社会教育課長**

**問** 町にホールは必要だと思う。建設の場合、国の補助もあると聞いている。このまま閉館の状態が続けていくのか。

**答** 現時点では処分するまでは考えていない。何とか、未利用施設、公共未利用施設等、全体を考えていきたい。 **福本町長**

### 廃校の古布庄小学校の有効活用は

**問** 他の市町では廃校の有効活用について、研究なり工夫されているが、古布庄小学校はこのままでいいのか。

**答** 何年も前から議論は進められている。校舎、体育館、グラウンド全体像を見ながら古布庄地域活性化協議会の意向を聞き検討していく。 **福本町長**

**答** 民俗文化財の保管施設として使用。活用が見込まれれば移転を検討する。 **田中教育長**

**問** 体育館の劣化調査は。

**答** 調査中で結果は出ていない。 **山田総務課長**

**問** 京都府精華町の水耕栽培、倉吉市関金の山守小学校の事例をどう思われるか。

**答** キノコ栽培、陸上養殖、馬の飼育など話は聞いている。活性化協議会含めて具体的に詰めていく。 **福本町長**

**問** 今後の見通しは。

**答** 期限はいつか、早々に結論は出していかなければならないと考えている。 **福本町長**



旧古布庄小学校



問

- ①部活動の段階的な地域移行について
- ②指導者の確保について

答

- ①地域に合った部活動の地域移行を目指す町独自アンケートも行いながら検討
- ②地域おこし協力隊も視野に具体的に進めるには難しい状況

福本町長  
田中教育長  
福本町長  
田中教育長



金光 敦 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 2回 3分 + 16分 ) 19分

問 部活動の段階的な地域移行について

2020年9月に文部科学省が出した学校の働き方改革を踏まえた部活動改革では、令和5年度より休日の部活動が段階的に地域移行する方向性が示されている。

長く学校が担った部活動が変革期を迎え、保護者を含めた町民の方や行政など地域全体の協力と理解が必要になると考えているが、部活動の地域移行についての考えを伺う。

答 地域に合ったやり方で活動の機会を確保

福本町長

部活動を学校単位から地域単位の活動に変えていくということだが、少子化の中においても、部の活動に継続して親しめる機会を確保することを目指している。

部活動の地域移行のやり方は多様であり、各地域に合ったやり方を行うべきだと考える。

答 町独自のアンケートも 行いながら検討

田中教育長

県や国からはっきりした方針が出ておらず、具体的に進めるのが難しいというのが現状である。来年の2月に県から最終方針が出され、説明がなされてから具体的な検討が始まる。

指導者への謝金を保護者負担にするかなど、多くの問題を抱えており、地域の方の理解が必要になる。

今年度、昨年度よりさらに詰めた町独自のアンケートを行い、それもふまえて検討していきたいと思う。

問 指導者の確保について

休日の部活指導などを担う地域人材の確保はどのようにされるか。

答 地域おこし協力隊活用も視野に

福本町長

スポーツ少年団やクラブチームなど町内だけで指導者を確保するのは難しいなかで、地域おこし協力隊を活用してはという提案もある。すでに地域おこし協力隊を活用している市町もあり、もし活用できたらパフォーマンスの高い指導者を確保できると考える。

答 具体的に進めるには難しい状況

田中教育長

希望する教職員や地域のスポーツ団体から指導者を確保しようと考えているが、各種競技団体との意見交換の結果、指導者の派遣は非常に難しいものと判断される。また、新たに競技団体が主体となって地域スポーツ団体をつくるということも困難であると考えられる。

人材派遣として、人材バンクの設置に向けて県とスポーツ協会で協議を行うとなっているが、こちらも難しいものとなっている。

指導者の確保は課題の一つであり、各スポーツ団体や協会に、地域移行についての課題を含めた情報提供を行っているところである。



押本 昌幸 議員



- ①町の諸施策を尋ねる
- ②「町公共施設等総合管理計画」について「まなタン」を例に問う



- ①それぞれに対応中である **福本町長**
- ②3段階で考える **山田総務課長**  
現状、基本設計は受け入れられない **福本町長**

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 9回 30分 + 27分 ) 57分

### 問 町の施策についていくつか尋ねる

- ①新しくなった八橋駐在所の場所が分かりにくいに対応策は。
- ②前立腺がん手術後者等のため男性用トイレにもサニタリーボックス物入が必要では。
- ③7月2日発生のKDDIの情報通信事故に無対応だったが今後は。
- ④ベトナム実習生への円安対策として生活支援はしないのか。
- ⑤町職員採用にあたっての公正性の担保は。
- ⑥八橋浜海岸進入路の可能性の検討は。
- ⑦本庁舎前ひまわり畑、来年の対応策はないか。

### 答 それぞれに対応中 **福本町長**

- ①課題は承知。警察署のほうで国交省と協議中だが、看板設置に時間を要している。草刈りについては、町有地は継続してやるが、民有地については警察署の方で対応中。
- ②県の対応を受けて、町でも男性トイレへの計画をしている。
- ③県、広域消防等からの連絡を受けて連携して対応しているが、町民への周知の材料が不足していた。
- ④技能実習生である以上は町は特別策は考えていない。
- ⑤職員採用の面接にあたっては中部4町の町長で行っている。
- ⑥地元の方と現場で話をした。検討はするが町全体での優先順位があるが、あとは地元の協力だ。
- ⑦取り組んだ農業青年会議会ひまわりの種の費用等も含めて、町が元気になることへの支援をしたい。

### 問 「町公共施設等総合管理計画」について「まなタン」を例に尋ねる

- ①「公共施設の維持・更新費用の試算」はどうか。
- ②「公共施設の更新単価」はどうか。
- ③更新にあたっての「課題」。

### 答 3段階で考える **山田総務課長**

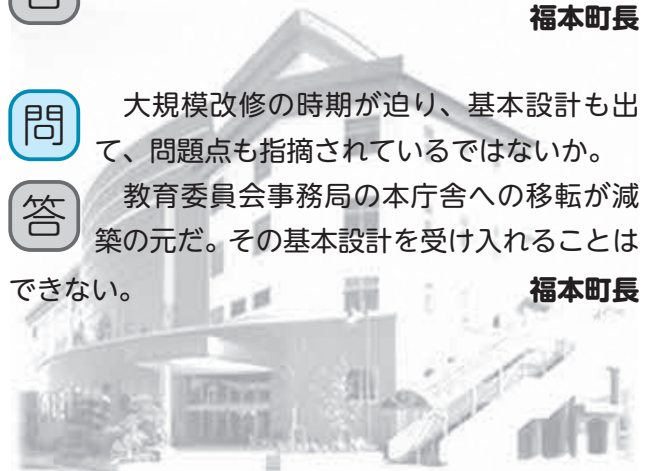
第1段階として30年で大規模改修を行い、次いで60年後には長寿命化工事を行い、80年後に建て替えるという3段階。大規模改修・長寿化工事はそれぞれ17億円、建て替えには27億円。まなびタウンの1サイクルで61億円という試算をしている。大規模改修には2年かかるという見込みである。総務省の推奨する公共施設等の更新費用ソフトを使用して、大規模改修の場合25万円/㎡に必要な面積約6,600㎡を掛けて17億円、建て替えは40万円/㎡で27億円という数字が出ている。

問 更新費用、現状4割縮減が必要だというのが。

答 まなタンだけを考えるわけにはいかない。 **福本町長**

問 大規模改修の時期が迫り、基本設計も出て、問題点も指摘されているではないか。

答 教育委員会事務局の本庁舎への移転が減築の元だ。その基本設計を受け入れることはできない。 **福本町長**





**農林水産業の振興策**  
 ①担い手・新規就農者対策  
 ②集落営農と地域農業の振興  
 ③観光農園や農業体験なども観光資源



①新規就農には多額の経費が必要  
 就農状況確認会の実施  
 ②農地を守る地域の輪が大切  
 ③豊かな観光資源を活用

福本町長  
 山根農林水産課長  
 福本町長  
 福本町長



川本 正一郎 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 8回 23分 + 32分 ) 55分

## 農林水産業の振興



琴浦まちづくりビジョンでは具体的にどのような施策を考えておられるのか伺う。



**重点項目として** 福本町長

次世代につながる産業と食が広げる新たな魅力づくりを掲げて、農林水産物の生産振興と担い手の育成、スマート農業の推進をします。



担い手不足対策として、新規就農者の状況を伺う。



**自営就農者が6名** 山根農林水産課長

令和3年度の新規就農者は、町の農業研修生を含めて6名、町内に雇用就農が3名有りました。



新規就農者の受け入れ体制が整っている作物が少ないのはなぜか、親元就農者の状況を伺う。



**多額の経費が必要** 福本町長

現在新規就農者へミニトマトを推奨していますが、就業開始にかなり経費が必要となる。新規就農者の生計や農地の取得など、また現在の物価高で町としても補助策などの案を検討しています。個々の新規就農者を支えるとなるとリスクを伴いますので作物を選ぶのは難しいと思っています。



**就農状況確認会の実施** 山根農林水産課長

親元就農については、毎年何名か有ります。補助金を活用された就農者の方については、普及所や関係機関を交えて就農状況の確認会を毎年実施して経営状況や技術習得などを確認している。その状況を

聞いて今後必要な支援をしています。



農事法人や集落営農は地域農業の振興と担い手確保につながると思うが現状を伺う。



**農地を守る地域の輪が大切** 福本町長

中山間地域の集落営農や多面的機能の団体が、農地を守り地域の人々の輪が一番大事だと思います。組織を大事にして新規就農者などが組織の中で作業や農業の基本を教えてもらう場だと考えて、そういう啓発とか繋がりを深めるような事を実施しなければならないと思います。



**農事法人4団体、集落営農組織16団体** 山根農林水産課長



観光農園・農場の現状と支援は有るのか伺う。



**観光農園の補助事業はない** 山根農林水産課長

町内でイチゴとブルーベリーでの観光農園は把握している。農林では観光に特化した補助事業はなく、生産拡大を目的とした県の補助事業で支援をしています。



観光農園や農業体験なども観光資源なので推進やPRなど紹介されないのか伺う。



**豊かな観光資源を活用** 福本町長

琴浦町には自然豊かな観光材料が豊富に有ります。どのように観光施策に結びつけるか実際に事業化することや、四季折々の体験農業などの観光も深掘りしてみたいと思っています。



小椋 正和 議員

**問**

- ①観光名所再構築は
- ②町道等の障害樹木の撤去と除草は

**答**

- ①過疎債を含め、県と連携を図り検討
- ②9月中に撤去と除草

福本町長

質疑応答時間 ( 26回 (質問) 30分 + (答弁) 28分 ) (トータル) 58分

**観光名所再構築は**

**問 遊歩道の整備に取り組みられないか**

赤碕地域での観光といえば船上山があるが、その魅力を引き出す開発がなされてきていない現状がある。地域の発展に向けて過疎債を活用し、鱒返しの滝下流にある滝壺までの渓流に遊歩道の新設と森林鉄道軌道跡地の遊歩道整備に取り組みられないか。



鱒返しの滝にある滝壺と渓流

**答 過疎債の活用も含め検討する**

まだまだ開発されていないというのは事実だと思う。観光業として民間の事業活動が少ないことも開発がなされていない要因と考えている。渓流遊歩道、森林鉄道軌道跡地等においては、過疎債も含めた財源の活用を視野に入れ、県等の関係機関と連携を取り、適切な保全と活用を今後も検討していく。

**町道等の障害樹木の撤去と除草は**

**問 町民より改善要望がなされているが**

6月に実施された地区行政座談会において、以

西・赤碕地区より問題提起として指摘を受けた、赤碕別所入口より赤碕運動公園への道路は、以前より何回となく町民より改善要望がなされてきているが、対応されないか。

**答 9月中には対応してもらおう**

現状は把握しており、適切な管理を地権者に要請している。要請に対してはほぼ対応をいただいているが、未対応の個所については、9月中に対応していただく予定としている。

**問 帽子取への道路除草管理は**

帽子取団地につながる道路は、長年草木に覆われて、軽自動車1台がようやく通れる幅員となっているが、長年放置理由は地元地権者との除草契約でもあったのか。

**答 契約はない。9月中に実施**

大変な状況であることは分かっている。実態としては、なかなか追いついていないが、体制の整備も考えている。



帽子取道路



- ①農業基本構想（2040年度版）の策定と半農半X（兼業就農）について
- ②コロナ禍、心のケア拠点「まちなか保健室」をまなびタウンとうはくに（生活困窮、自殺、いじめ、不登校、DV、ひきこもり、児童虐待等）



- ①地域計画をR7年度までに策定し、半農半Xは検討する（数値活用は有効な手段である） 福本町長
- ②基本的には教育・町民の相談体制は整っている 福本町長  
 県内初の不登校対応（両中学校）で学習支援員を配置 田中教育長



桑本 始 議員

(質問) (答弁) (トータル)

質疑応答時間 ( 13回 30分 + 41分 ) 71分

### 問 琴浦の兼業就農新スタイル 地方移住「半農半X」は

- ①2020年農林業センサス分析による琴浦町農業の農業経営体（組織形態別経営体）と、基幹的農業従事者（年齢別階層）を分析され現状と課題について。
- ②農業基本構想（2040年度版）の策定と、持続可能な農村づくりに向けて9地区の基幹的農業従事者人口の予測プログラム（必要な新規就農者の目標算出）を作成し、地域農業振興プロジェクト会議（行政・JA・生産部・森林組合・漁協・芝関係・普及所・鳥大）で農業後継者の安定化シナリオを構築することについて。
- ③半農半X(兼業就農新スタイル)。従来の「自営就農」「雇用就農」という就農形態に加えて新たなUIターンによる移住定住・新規就農に結び付き令和5年の農水省概算要求に予算もついているが。

### 答 地域計画をR7年度までに策定し、半農半Xは検討する（数値活用は有効な手段である） 福本町長

- ①農業経営体・基幹的農業従事者の減少については、国の動きや現場の動向を注視しながら検討したい。
- ②③農業基本構想は、人・農地プランの中の次の展開で半農半Xについては、農地が基本だと思っている。

### 答 国の新たな「食料・農業・農村基本計画」を実現 山根農林水産課長

国の新たな「食料・農業・農村基本計画」において、農村での副業・兼業などの多様なライフスタイルを実現するため、半農半Xなどを増加させる方策を示すとしている。また、今年5月には農業経営基盤強化法等の改正により、人・農地プランの法定化

や、農地制度の見直しによる農地取得下限面積の撤廃など、多様な担い手の育成と農地利用に向けた推進体制の強化が図られてきた。

地域計画を令和7年度までに策定するにあたり、数値を活用した新規就農者数の目標作成は有効な手段であるので、今後検討していく。

### 問 コロナ禍、生活困窮、いじめ、不登校、DV、児童虐待等の心のケア拠点「まちなか保健室」の設置について

- ①コロナ禍における町民の心のケアについて
- ②複合的な悩み「脱・縦割り」ワンストップ総合相談窓口（断らない相談窓口）の心のケアの拠点としてまなびタウンとうはくに「まちなか保健室」を設置することについて。

### 答 ①②基本的には教育・町民の相談体制は整っている 福本町長

#### ①県内初の不登校対応（両中学校）に学習支援員を配置した 田中教育長

- ①基本的には、教育相談体制、町民の相談体制は整っていると思っている。また、コロナ禍の生活困窮（住民非課税世帯、所得制限世帯）の対応で支給対象とならない世帯に対しても内部で議論し対応している。
- ①新たに今年度から不登校対応のための学習支援員を中学校に配置した。
- ②デリバリー事業ということではないが、個々の要件、学校関係も含めすこやか健康課と教育委員会のほうで関わっていただいた経緯、今年になってからもあり、基本的には今の相談体制でできると思っている。

# いざという時の 家庭の備えは？

## ～非常食の備蓄について考える～

近年、台風・大雨による土砂崩れや土石流が日本各地で発生しています。

特に線状降水帯による河川の氾濫などは、50年～100年に一度と言われる大災害になっています。

そんな、いつ何が起こるかわからない災害に備えて、自分や家族また、地域の人たちの命を守るために何が必要なのか、町の災害対策の状況を確認し、日ごろから準備しておくべきことを検討してみました。

実際に防災備蓄倉庫（逢束地内設置）を見学し、災害時に必要となる備蓄品、特に非常食について考えてみました。

### 1 防災備蓄倉庫に保管されている 物品の一部を紹介します



防災備蓄倉庫内部

非常食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水（500ml）</li> <li>・乾パン</li> <li>・液体ミルク</li> <li>・アルファ化米（ごはん2種・おかゆ）</li> <li>・缶入りパン2種、ライスクッキー</li> </ul>
衛生品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ（大人用・こども用）</li> <li>・簡易トイレ</li> <li>・歯みがきシート</li> <li>・救急セット</li> <li>・マスク</li> <li>・除菌シート</li> <li>・消毒液 他14種類</li> </ul>
日用品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛布</li> <li>・タオル</li> <li>・ペーパータオル</li> <li>・段ボールベッド</li> <li>・間仕切り</li> <li>・懐中電灯</li> <li>・哺乳瓶（使い捨て） 他11種類</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土嚢袋</li> <li>・ブルーシート</li> <li>・ジョイントマット</li> <li>・ハロゲンライト</li> <li>・発電機</li> <li>・コードリール</li> <li>・ロープ</li> <li>・ポリタンク 他8種類</li> </ul>

## 2 非常食を試食して感じたこと

- 全体的においしく食べることができました。
- ご飯とおかゆは水で調理できましたが、1時間程置いておく必要があります。水は備蓄品を使用しました。
- ご飯は味付きでおいしいですが、連続で食べるのはちょっときついな、白ご飯もあったらいいなと感じました。
- おかゆは、梅しそがアクセントになっていておいしかったです。梅しそは量を調節できるので、好みの味で食べれます。
- 缶入りパンは開けてすぐ食べれましたが、少し取り出しにくかったです。チョコチップとレーズンの2種類があり、ふんわり柔らかでした。
- クッキーもサクツとしていて優しい味です。



上段左側から梅がゆ、味付きごはん2種、下段左側からライスクッキー、缶入りパン2種、水

### 一言メモ

- \* 缶入りパンに、アレルギー表示が無いのが残念!! 他の食品には表示してありました。
- \* パンやクッキーを食べる時は水分は欠かせません。

## 3 家庭で準備したい非常食の提案

- 救援物資が到着するまで、最低3日分くらい備えておきましょう（家族の人数×3日分を目安に）。水も忘れずに準備しましょう（一人1日3リットルが目安）。
- 非常食は、専門業者やインターネットからの購入が中心になりそうです。購入しにくい時は、町内のお店で購入できる保存食品（カップめんやレトルト食品など）を活用する方法もあります。その場合お湯を沸かす必要があるので、卓上コンロなどの準備も忘れずに。
- 非常食として備蓄する食品には、お菓子（アメやチョコレートなど保存のきくもの）やフルーツ缶詰などもお勧めです。
- 食品類は定期的に点検して、消費期限内においしくいただきましょう。普段から味に慣れておくと、食べられなくて困ることも回避できます。

### 非常時用備蓄品(例)

琴浦町防災マップより

#### 飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター（1人1日3リットルを目安に）
- 貯水した防災タンクなど

#### 非常食品



- お米（缶詰・レトルト・アルファ米も便利）
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフルーツ・チョコレート・アメ（菓子類など）

### 一言メモ

- \* 各集落で避難訓練を実施する場合、非常食の提供を受けることができます。

\* いざという時、自分たちはどこに避難するのか、支援を必要とする人が集落のどこにいるのか、誰がどう支援するのかなど、実際に動いてみないとわかりません。各集落で、防災訓練に取り組みましょう。

# 町民の声

敬称略

## 琴浦の住人になって10年



あんどう きよこ  
安藤 清子

私は琴浦町の住人になって10年になります。

今では、昔から住んでいたような気分になっております。

当時は、東京生まれの私には皆さんの会話が遠い国に来たような感覚でした。しかし、八橋の皆さんは、こんな私をいつの間にか受け入れて、寿大学、笑和会、田町クラブ、夢現の風と、皆さんが私に声を掛けて下さりました。

私も何か皆さんに喜んでいただけるものはないかと考え、30年私の趣味でデコパージュ、トールペイント等、いくつかの手芸を琴浦の皆さんに楽しんでいただけたらと思い、自宅で教室を始めました。

皆さんがデコパージュという言葉も初めてで、トールペイントも今まで見た事もない絵だと言ってくださり、ボランティアを兼ねて今は色々な場所をお借りして生徒さんと一緒に作品展示をしております。

教室には色々な分野で活躍している皆さんが集まりお稽古をしております。75歳の時に自動車の免許を返納してしまい、今は皆さんの力をお借りしております。

琴浦の皆さんが少しでも「ホッコリ」した気持ちになっていただけたら、幸せです。これからも琴浦町の発展と八橋のまちづくりに私の出来る限りの事をしていきたいと思っています。

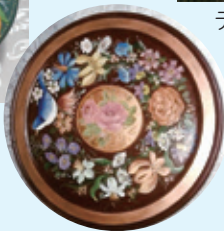
よろしくお願い致します。



トールペイントの作品



デコパージュの作品



## あとなぎ

秋といえば虫の音、金木犀の香り、新米、朝晩の冷え込み、そして紅葉が連想されます。

それぞれ聴覚、嗅覚、味覚、触覚、視覚といわれる五感から生じるものです。

この五感には身体に備わる受容器という器官から得られますが、個人が持つ

器官は一律ではないため、人によって感覚は様々だそうです。

そして感覚の違いは、考え方や意見の違いにも現れます。

五感を研ぎ澄まして住民の皆さんの多様な感覚を把握し、住民が主役のまちづくりに反映することが、私たち議員の使命だと思っています。(肇)



## 議会広報常任委員会

委員長	川本 善孝
副委員長	金光 敦
委員	山本 秀正
委員	田中 肇
委員	谷田 順子
委員	小椋 憲浩

題字 山田 美鈴氏

## 3年目のシーズンに向けて

私は中学生サッカークラブ、コラソンリーサ鳥取の監督をしております。

7名で始まったクラブは現在、38名の仲間達と楽しく真剣に練習しています。当クラブはスポ少や中学の部活とは違い、町や学校からの支援やサポートは現状ありません。

クラブ運営の課題として、大きく2つあります。1つ目は運営費用の問題です。大会への参加費や練習用具の購入、選手登録料、グラウンド使用料、夜間のナイター使用料など、小さな金額ではありません。毎月選手から月会費を集め活動しておりますが、それだけではまかなえず、クラブを継続していくためには、月会費以外での資金調達が必要となります。そんな中、町内を中心に沢山の企業様・個人様からスポンサー料を頂戴し、選手に充実した環境を提供する事ができ始めました。本当に感謝しかありません。2つ目は練習場の問題です。現在、平日週3回の練習を行っています。様々な中学校から選手が集まる我々のようなクラブチームは、夕方暗くなってからの練習になる為、ナイター設備付グラウンドを使用します。週2回東伯中のグラウンドを使用していますが、より良い環境を求め週1回、湯梨浜町の人工芝グラウンドにチームバスで向かいます。平らで柔らかいグラウンドでは、怪我が減り、技術の上達スピードも格段に上がりました。昨年度、東伯総合公園サッカー場のナイター付人工芝グラウンド化という夢のような話は残念ながら実現しませんでした。まだまだ実現の可能性を信じ、我々も協力していきます。この2つの課題に向き合いながら、選手と共にクラブも成長していきます。

応援よろしくお願い致します。



いわみ しんすけ  
岩見進一郎



リーグ連覇を決めたコラソンリーサ鳥取